

県畜産共進会が開催されました

始良中央家畜市場で開催された鹿児島県畜産共進会において、本市から出品した黒毛和牛が好成績を収めました。

10月1日、第65回鹿児島県畜産共進会が開催され、県内から5部門、合計79頭の黒毛和牛が出品されました。

本市からは、9月15日に行われた曾於地区秋季畜産共進会において曾於地区代表として選ばれた上村春夫さんの「かつよ」号と山下トシ子さんの「はるこ」号、「ゆりこ」号、「あさ」号が出品されました。

審査の結果、上村春夫さんの「かつよ」号が2回以上出産している雌牛の部門（第4部成雌区）において最優秀賞2席に選ばれました。また、山下トシ子さんの「はるこ」号、「ゆりこ」号、「あさ」号が母・娘・孫娘牛の3頭1組で出品する部門（第5部高等登録群区）において最優秀賞3席に選ばれました。

写真上：上村春夫さんと「かつよ」号

写真下：山下トシ子さんと「はるこ」号、「ゆりこ」号、「あさ」号



108回目の伊崎田相撲開催

一世紀を超える伝統のある伊崎田相撲大会が開催され、土俵上では熱戦が繰り広げられました。

10月16日、伊崎田小学校の相撲場で第108回となる同大会が開催されました。同大会は、明治時代に戌申證書の発布を記念して始められました。当日は、小学生、中学生、一般の取組のほか、赤ちゃん土俵入りや中学生が制作した化粧まわしコンテストなどが行われ、盛大に開催されました。

日頃の練習成果を発表しました

10月23日、第10回障がい者文化活動発表会が有明地区公民館で開催され約120人が参加しました。

障がい者等の社会参加を目的として行われた文化活動発表会では、団体による太鼓や舞踊、手話クラス、個人による歌やピアノの弾き語り、打楽器演奏などが披露されました。

皆さん緊張しながらも、練習の成果を発揮し、会場からはたくさんの拍手が起きました。



ホタル舞う川を取り戻そう

泰野地区でメダカや魚が泳ぐきれいな尾野見川にしようと清掃活動が行われ、約80人が参加しました。

10月8日、水土里サークルでのもんそ会、泰野地区ふるさとづくり委員会、泰野小学校PTAが合同で清掃しました。ふるさとの川をみんなで守ろうという声が地域全体に広がり、今年で5年目を迎えました。参加者は、「きれいになって嬉しい」「ホタルの舞う川が取り戻せよう」と期待していました。

避難のときは「お・か・し・も」

有明保育園で避難訓練が行われ、志布志消防署による消火器の使い方の講習などが行われました。

10月17日、志布志消防署員の指導の下、避難訓練が行われ「おさない、かけない、しゃべらない、もどらないの『おかしも』を守って安全に避難してください」と講話がありました。また、女性消防隊が、様々な災害の対応をわかりやすく○×クイズで説明し、園児は楽しみながらも真剣に話を聞きました。



山田水産(株)と立地協定を締結

10月12日、市と山田水産(株)が、県の立会いのもと新工場増設のための立地協定を締結しました。

同社は、大分県佐伯市に本社を置き、志布志市では鰻の養殖、蒲焼製造、販売の一貫量産経営を行っています。今回、鰻料理のレストランや店舗が併設された鰻蒲焼真空パック製造や地元農産品を使った惣菜を製造する工場を増設し、雇用創出や観光客誘致など地域経済の発展への貢献が期待されます。

恒久平和の誓いを新たに

戦没者追悼式に遺族等約350人が参加し、折鶴献納等を行い、平和への誓いを捧げました。

10月15日、市文化会館で戦没者追悼式を挙行了しました。遺族代表の山吉直弘さんが「戦争のない社会に向けて恒久平和の発信を続けていく」と追悼のこたばを捧げられました。また、伊崎田小6年の野村大和さんと伊崎愛花さんが平和のメッセージと折鶴献納を行い、平和への誓いを捧げました。

